

# ○バリデーションガイドライン 新旧対照表

次世代EDINETタクソノミ					次世代EDINETタクソノミ (案) 第四版				
2-2-1-7 XBRL					2-2-1-7 XBRL				
(略)					(略)				
図表 2-2-7 例外種別とチェック内容(XBRL)					図表 2-2-7 例外種別とチェック内容(XBRL)				
項番	例外種別	コード	対象	チェック内容	項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
1	ERROR	EC0126E	フォルダ	フォルダが存在すること。 ※ただし、財務諸表本表のみ XBRL で提出する様式の訂正報告書等を提出する際に、XBRL で提出した箇所に訂正がない場合、「XBRL」フォルダの提出は不要。	1	ERROR	EC0126E	フォルダ	フォルダが存在すること。 ※ただし、訂正報告書等の提出の際に、XBRL で提出した箇所に訂正がない場合、「XBRL」フォルダの提出は任意。
(略)					(略)				
<h2>3-4-2 コンテキストの設定</h2>					<h2>3-4-2 コンテキストの設定</h2>				
(略)					(略)				
図表 3-4-2 例外種別とチェック内容(コンテキストの設定)					図表 3-4-2 例外種別とチェック内容(コンテキストの設定)				
項番	例外種別	コード	対象	チェック内容	項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
6	SERIOUS WARNING (ただし、届出書の場合は、REMINDER)	EC8014S EC8014R	コンテキストID (有価証券報告書、半期報告書等)	個別を表すコンテキストID(※1)が存在すること。	6	SERIOUS WARNING (ただし、届出書の場合は、REMINDER)	EC8014S EC8014R	コンテキストID (有価証券報告書、半期報告書等)	個別を表すコンテキストID(※)が存在すること。
7	WARNING	EC8015W	コンテキストID (四半期報告書(連結のみの場合))	個別を表すコンテキストID(※1)が存在しないこと(ただし、DEI情報の「当会計期間の種類」が「HY」の場合を除く。)(※2)	7	SERIOUS WARNING	EC8015S	コンテキストID (四半期報告書(連結のみの場合))	個別を表すコンテキストID(※)が存在しないこと(ただし、DEI情報の「当会計期間の種類」が「HY」の場合を除く。)
8	SERIOUS WARNING	EC8014S	コンテキストID (四半期報告書(個別のみの場合))	個別を表すコンテキストID(※1)が存在すること。	8	SERIOUS WARNING	EC8014S	コンテキストID (四半期報告書(個別のみの場合))	個別を表すコンテキストID(※)が存在すること。
10	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当期期間(開始)	コンテキストIDが「CurrentYearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。(※2)	10	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当期期間(開始)	コンテキストIDが「CurrentYearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。
(略)					(略)				

## 次世代EDINETタクソノミ

項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
14	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「Prior1YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。(※2)
15	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
20	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前々期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「Prior2YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
24	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当四半期累計期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「CurrentYTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「次の事業年度開始日」と一致すること。(※2)
25				DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「CurrentYTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
29	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前年度同四半期累計期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1YTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
33	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当中間期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「次の事業年度開始日」と一致すること。(※2)
34				DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
38	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前中間期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。(※2)
(略)				
45	WARNING	EC8016W	コンテキストID (IFRS)	個別を表すコンテキストID(※1)が存在しないこと。

## 次世代EDINETタクソノミ (案) 第四版

項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
14	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「Prior1YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。
15	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
20	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前々期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「Prior2YearDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
24	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当四半期累計期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「CurrentYTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「次の事業年度開始日」と一致すること。
25				DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「CurrentYTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
29	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前年度同四半期累計期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1YTDDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
33	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 当中間期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在する場合、コンテキストIDが「InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「次の事業年度開始日」と一致すること。
34				DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「当事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
38	SERIOUS WARNING	EC8019S	コンテキストID 前中間期期間(開始)	DEI情報の「次の事業年度開始日」が存在しない場合、コンテキストIDが「Prior1InterimDuration」から始まるコンテキストのstartDateが、DEI情報の「前事業年度開始日」と一致すること。
(略)				
45	WARNING	EC8016W	コンテキストID (IFRS)	個別を表すコンテキストID(※)が存在しないこと。

## 次世代EDINETタクソノミ

※1 個別を表すコンテキスト ID とは次のいずれかの文字列で始まるコンテキスト ID を指します。  
(略)

※2 非連結から連結への変更又は連結から非連結への変更があった場合は、データ内容が正常であっても、例外と認識され、重大な警告又は警告が表示される場合があります。

### 3-7-1 名称リンクの設定

(略)

図表 3-7-1 例外種別とチェック内容(名称リンクの設定)

項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
2	WARNING SERIOUS WARNING ※1	EC8035W EC8035S	名称リンク	拡張要素の日本語ラベル及び英語ラベルともに、標準ラベル及び冗長ラベルを設定していること。
3	ERROR ※2	EC5030E	名称リンク	EDINET タクソノミの名称リンクが参照されていること。
4	WARNING	EC8035W	名称リンク(IFRS)	拡張要素の日本語ラベル及び英語ラベルともに、標準ラベルを設定していること
5	SERIOUS WARNING	EC8028S	priority属	提出者別タクソノミ内の同一要素及び同一ラベルロールのラベルで、priority属性が重複していないこと。

※1 有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書、半期報告書又はそれらの訂正報告書で、日本語標準ラベル又は冗長ラベルを設定していない場合のみ。

※2 臨時報告書の場合のみ。

### 4-1-8 目次項目

目次項目の検証は、各様式の本文の目次項目【隅付き括弧項目】が法令で定められた項目と齟齬（そご）がないか、次の図表のチェック内容で検証します。

※目次番号の設定については、『提出書類ファイル仕様書』の「3-4-3-1 本文ファイルとは」を参照してください。

(略)

## 次世代EDINETタクソノミ（案）第四版

※個別を表すコンテキスト ID とは次のいずれかの文字列で始まるコンテキスト ID を指します。  
(略)

(追加)

### 3-7-1 名称リンクの設定

(略)

図表 3-7-1 例外種別とチェック内容(名称リンクの設定)

項番	例外種別	コード	対象	チェック内容
2	WARNING SERIOUS WARNING ※	EC8035W EC8035S	名称リンク	拡張要素の日本語ラベル及び英語ラベルともに、標準ラベル及び冗長ラベルを設定していること。
3	WARNING	EC8035W	名称リンク(IFRS)	拡張要素の日本語ラベル及び英語ラベルともに、標準ラベルを設定していること
4	SERIOUS WARNING	EC8028S	priority属性	提出者別タクソノミ内の同一要素及び同一ラベルロールのラベルで、priority属性が重複していないこと。

※有価証券届出書、有価証券報告書、四半期報告書、半期報告書又はそれらの訂正報告書で、日本語標準ラベル又は冗長ラベルを設定していない場合のみ。

(追加)

### 4-1-8 目次項目

目次項目の検証は、各様式の本文の目次項目【隅付き括弧項目】が法令で定められた項目と齟齬（そご）がないか、次の図表のチェック内容で検証します。

(略)

## 4-1-9 PDF 変換

(略)

Memo



### 画像が A4 縦に収まらない場合について

提出書類の PDF 変換時に A4 縦に収まらない場合、自動的に A4 横に変換していますが、画像が A4 縦に収まらない場合は、A4 横への変更は行わないため、PDF 変換時の検証の警告又はエラーは出力されません。

提出書類の本登録前に「提出書類 PDF 確認ボタン」で、PDF のドラフト版が確認できますので、提出前に PDF 上のレイアウトが崩れていないことを御確認ください。

## 4-2-2 DEI 項目の整合性

(略)

図表 4-2-3 例外種別と比較内容

項番	例外種	コード	検証対象項目	条件	比較対象のEDINET登録情報又は提出書類内容	
					設定又は記載箇所	比較検証項目

(略)

16	REMINDER	EC5602R	ファンド名称(日本語表記)	=	表紙※7	【ファンド名】 【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 【届出の対象とした募集(売出)内国投資証券に係る投資法人の名称】 ※ 、<span>等のHTMLタグを記載した場合も、データ内容が正常か否かに関わらず例外と識別され、注意喚起が表示されます。
----	----------	---------	---------------	---	------	--

(略)

(略)

## 4-1-9 PDF 変換

(略)

(追加)

## 4-2-2 DEI 項目の整合性

(略)

図表 4-2-3 例外種別と比較内容

項番	例外種別	コード	検証対象項目	条件	比較対象のEDINET登録情報又は提出書類内容	
					設定又は記載箇所	比較検証項目

(略)

16	REMINDER	EC5602R	ファンド名称(日本語表記)	=	表紙※7	【ファンド名】 【届出の対象とした募集(売出)内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 【届出の対象とした募集(売出)内国投資証券に係る投資法人の名称】
----	----------	---------	---------------	---	------	---

(略)

(略)

### 4-2-3 有価証券報告書等の整合性

### 4-2-3 有価証券報告書等の整合性

(略)

図表 4-2-4 例外種別とチェック内容(有価証券報告書等の整合性)

項番	例外種別	コード	検証対象項目	チェック内容
(略)				
16	WARNING	EC8050W	セグメント情報(日本基準)	報告セグメントメンバーに子メンバーが設定されていること。 ※報告セグメントが一つしかない場合は、データ内容が正常であっても、例外と識別され、警告が表示される場合があります。
17	WARNING	EC8050W	セグメント情報(日本基準)	報告セグメントメンバーの子メンバーが、コンテキストの scenario 要素に出現すること。 ※報告セグメントを統括するセグメントで、当該セグメント自身の数値が示されていない場合は、データ内容が正常であっても、例外と識別され、警告が表示される場合があります。
(略)				

(略)

(略)

図表 4-2-4 例外種別とチェック内容(有価証券報告書等の整合性)

項番	例外種別	コード	検証対象項目	チェック内容
(略)				
16	SERIOUS WARNING	EC8050S	セグメント情報(日本基準)	報告セグメントメンバーに子メンバーが設定されていること。
17	SERIOUS WARNING	EC8050S	セグメント情報(日本基準)	報告セグメントメンバーの子メンバーが、コンテキストの scenario 要素に出現すること。
(略)				

(略)